

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東
 コード番号 7363 URL <https://corp.baby-calendar.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安田 啓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 高桑 忠久 TEL 03-6631-3600
 四半期報告書提出予定日 2021年8月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	484	—	51	—	39	—	24	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	29.98	26.14
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2020年12月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2021年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2021年3月25日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年12月期第2四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	961	812	84.4
2020年12月期	502	345	68.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 812百万円 2020年12月期 345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,074	20.2	197	106.6	155	61.3	101	63.8	119.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	897,200株	2020年12月期	743,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	814,300株	2020年12月期2Q	一株

(注)2020年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュフローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におきましては、専門知識を有する人材の確保を行うとともに、当社サイトの閲覧数増加に向けて、サイト運営の強化を図ってまいりました結果、2021年6月末時点におきまして、当社「ベビーカレンダー」サイトの閲覧数は2億PVを超過し、今年度の目標値としておりました1億5千万PVを半年で達成することができました。

また、蔓延防止等重点措置及び緊急事態宣言が発令される中、全国の産院向けにリモート調乳指導などの非接触型集患ツールの提供などを行ってまいりました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期累計期間の売上高は484,045千円、売上総利益321,474千円、営業利益は51,338千円、四半期純利益は24,412千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、「妊娠・出産・育児」領域の専門サイト「ベビーカレンダー」をはじめとした自社サイトのPV数が増加したことに加えて、タイアップ広告の受注が好調に推移したこと等により、売上高は331,332千円、セグメント利益は123,027千円となりました。

(産婦人科向け事業)

産婦人科向け事業におきましては、蔓延防止等重点措置及び緊急事態宣言が発令される中、オンライン会議システムの活用やダイレクトメールによる営業ツールを活用することで、新型コロナウイルスによる営業活動への影響はなく、主力商品の「ベビーパッド」の新規案件の獲得及び既存顧客の契約更新が想定どおり進んだことで、売上高は90,331千円、セグメント利益は6,525千円となりました。

(Webマーケティング事業)

Webマーケティング事業におきましては、蔓延防止等重点措置及び緊急事態宣言が発令される中、Webツールによる営業活動を進め、既存顧客へのアドオン受注の獲得に重点を置いた計画により、順調に推移いたしました。この結果、売上高は62,382千円、セグメント利益は8,113千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて469,041千円増加し、851,073千円となりました。これは、主に上場に伴う増資により、現金及び預金が451,507千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて9,129千円減少し、110,869千円となりました。これは、主に減価償却による減少であります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて459,912千円増加し、961,942千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて108千円減少し、133,343千円となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べて6,423千円減少し、16,272千円となりました。これは、主に長期借入金5,838千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて6,531千円減少し、149,615千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて466,443千円増加し、812,326千円となりました。これは、主に上場に伴う増資により、資本金が221,015千円、資本剰余金が221,015千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「現金」という。）は688,902千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は36,607千円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益を39,573千円計上したことによりです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は7,490千円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出3,018千円及び無形固定資産の取得による支出4,472千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は422,390千円となりました。

これは主に、株式の発行による収入423,880千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年3月25日公表「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。なお、2021年12月期における新型コロナウイルスの当社業績への影響はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	237,395	688,902
売掛金	103,726	106,418
原材料及び貯蔵品	25,786	28,443
その他	15,660	27,852
貸倒引当金	△536	△543
流動資産合計	382,032	851,073
固定資産		
有形固定資産	12,383	12,941
無形固定資産	89,249	78,664
投資その他の資産		
その他	18,816	19,714
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	18,365	19,263
固定資産合計	119,998	110,869
資産合計	502,030	961,942
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,724	26,816
1年内返済予定の長期借入金	11,390	10,008
未払法人税等	1,037	19,865
その他	97,299	76,653
流動負債合計	133,451	133,343
固定負債		
長期借入金	13,320	7,482
資産除去債務	6,902	6,946
その他	2,473	1,844
固定負債合計	22,695	16,272
負債合計	156,147	149,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,790	277,805
資本剰余金	187,385	408,401
利益剰余金	101,707	126,120
株主資本合計	345,883	812,326
純資産合計	345,883	812,326
負債純資産合計	502,030	961,942

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	484,045
売上原価	162,571
売上総利益	321,474
販売費及び一般管理費	270,135
営業利益	51,338
営業外収益	
受取利息	0
その他	95
営業外収益合計	96
営業外費用	
支払利息	57
株式公開費用	11,792
その他	11
営業外費用合計	11,862
経常利益	39,573
税引前四半期純利益	39,573
法人税、住民税及び事業税	16,206
法人税等調整額	△1,045
法人税等合計	15,160
四半期純利益	24,412

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	39,573
減価償却費	11,174
のれん償却額	5,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6
受取利息	△0
支払利息	57
株式公開費用	11,792
売上債権の増減額(△は増加)	△2,691
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,657
仕入債務の増減額(△は減少)	3,092
未払金の増減額(△は減少)	△28,886
その他	400
小計	37,748
利息の受取額	0
利息の支払額	△63
法人税等の支払額	△1,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,018
無形固定資産の取得による支出	△4,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△7,220
株式の発行による収入	423,880
新株予約権の行使による株式の発行による収入	18,150
株式公開費用による支出	△11,792
リース債務の返済による支出	△627
財務活動によるキャッシュ・フロー	422,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	451,507
現金及び現金同等物の期首残高	237,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	688,902

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月25日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年3月24日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）により新株式85,000株を発行しております。当該増資により資本金及び資本剰余金はそれぞれ164,220千円増加しました。

また、2021年4月21日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により新株式24,700株を発行しております。当該増資により資本金及び資本剰余金はそれぞれ47,720千円増加しました。

さらに、当第2四半期会計期間において新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,075千円増加しております。

上記の結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が277,805千円、資本剰余金が408,401千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	メディア事業	産婦人科向け事業	Webマーケティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	331,332	90,331	62,382	484,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	331,332	90,331	62,382	484,045
セグメント利益	123,027	6,525	8,113	137,667

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額
及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	137,667
のれん償却額	△5,888
全社費用（注）	△80,440
四半期損益計算書の営業利益	51,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。